

# 市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索



## 主な掲載内容

- 第3回定例会の概要…………… 2～3
- 一般質問…………… 4～9
- 委員会審査…………… 10
- 請願・陳情のご案内…………… 11
- 議案等審議結果…………… 12

NO. **265**

2018.7.31  
発行 高崎市議会  
編集 広報委員会  
高崎市高松町35番地1  
TEL 027(321)1281

# 高浜クリーンセンター建替プラント 設備工事請負契約を可決

平成30年第3回定例会は、下記の日程により15日間の会期で開かれました。  
本定例会では、請負契約の締結などの議案22件、議員派遣の議員提出議案1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。  
また、副市長の選任、人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。  
なお、24人の議員が市政に対し一般質問を行いました。

6/8(金)	議案上程、提案説明
6/11(月)、12(火)、 13(水)、14(木)	一般質問 (* 詳しい内容はP4~9)
6/18(月)、19(火)	委員会審査 (* 詳しい内容はP10)
6/22(金)	付託された議案等の委員長報告~討論~議決 ほか (* 審議結果はP12)

建て替えが始まる高浜クリーンセンター

本定例会で可決した主な議案

## 高浜クリーンセンター建替プラント 設備工事の請負契約

高浜クリーンセンターを建て替えるため、プラント設備工事の請負契約を締結する。

- 契約金額 167億6160万円
- 契約相手方 日立造船株式会社東京本社
- 竣工日 平成35年3月10日
- 施設概要
 

可燃ごみ処理施設	480トン/日
不燃・粗大ごみ処理施設	34トン/5時間
リサイクルセンター	65トン/5時間

## 小型バス(ぐるりん)を2台購入

市内循環バスぐるりんの運行に使用する小型バスを2台購入する。

- 契約金額 4500万円
- 契約相手方 群馬日野自動車株式会社高崎支店

## 高崎芸術劇場の指定管理者を指定

高崎芸術劇場の管理を行わせるための指定管理者を指定する。

- 管理者名 公益財団法人高崎財団  
理事長 高木 茂
- 指定期間 平成30年7月1日~35年3月31日

## 岩手県大船渡市議会議長来訪

東日本大震災後、継続して行っている職員派遣へのお礼のため、7月4日に来訪されました。



来訪された大船渡市議会議長(右)

## 同意した人事案件

- 副市長 さいとう たつや 齋藤 達也 氏
- 人権擁護委員候補者 まつだ ひさえ 松田 久枝 氏
- 人権擁護委員候補者 しみず たかお 清水 孝勇 氏
- 人権擁護委員候補者 やまうち じゅんどう 山内 順道 氏
- 人権擁護委員候補者 まつもと よしみ 松本 好美 氏

## 請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、平成29年から継続審査となっていた1件に加え、本定例会に提出された2件の計3件は賛成少数で不採択となりました。

- 学校給食費の無料化を求めることについて【不採択】
- 若い人も高齢者も安心できる最低保障年金制度の創設を求める意見書の採択について【不採択】
- 年金の隔月支給を毎月支給に改める意見書の採択について【不採択】

## 議会運営委員会の構成員が変更になりました

平成30年6月5日付で、議会運営委員会委員の根岸 赴夫議員に代わり、石川 徹議員が新たに委員になりました。

## 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

基準の改正に伴い、放課後児童支援員となるための要件について、教育免許状の更新を受けていない場合の取り扱いを明記し、5年以上の実務経験を有する者を資格の対象として拡大することを追加する。

■ 施行日 公布の日から



放課後児童クラブ

## 平成30年度 一般会計補正予算 歳入歳出4296万円の増額

平成30年度一般会計の総額に歳入歳出それぞれ4296万円を増額し、予算の総額を1689億2766万円とする。

### 主な内容

#### ■ 救急自動車の購入

救急活動に役立てて欲しいとの趣旨で頂いた寄付により、救急自動車を購入する。

4000万円

#### ■ 自治総合センターコミュニティ助成金

町内会の備品購入助成金が採択されたことによる。

130万円

#### ■ 「世界の記憶」上野三碑保存活用のための機械を購入

上野三碑の保存活用のための寄付金を受けて樹木粉碎機を購入する。

100万円

※その他、基金への積み立てなどを計上

# 一般質問

あらしを掲載  
質問者順で掲載  
しています。



都市計画道路沿線の無秩序開発  
インターンシップ

田角悦恭  
たつのときやす  
(新風会)

**質問** 都市計画道路の整備の進捗に伴い、民間による無秩序な開発が懸念される。用途地域の指定により規制をかけることが重要と考えますが、見解は。

**答弁** 西毛広域幹線道路などの整備に伴い、沿道地域における民間の開発動向は高まりつつある。都市計画法で市街化調整区域の開発行為が規制されているが、無指定地域は、無秩序な開発行為が懸念されるため、**地区計画制度等の活用を慎重に研究していく。**

**質問** 本市における**インターンシップの受け入れ条件**と実施状況は。また、**Uターン就職を希望する県外の学生を受け入れる考え**は。

**答弁** 県内の大学や短大、市内の高校からの要請により、平成29年度は27人を受け入れている。また、県外の学生が地元で就業体験で

きることは貴重な経験であり、Uターン就職も増えると思われる。近年、ニーズが高まっているため、県外の学生も受け入れることとしたい。



自転車事故防止対策  
障害者日常生活用具給付

後藤彰  
ごとうあきら  
(新風会)

**質問** 交通事故の被害軽減のため、小・中学生および高校生の自転車搭乗時のヘルメット着用の考えは。

**答弁** 自転車事故は頭部損傷により重傷を負うため、小学生からヘルメットの着用を指導し、中学生に対しては、着用の徹底に加え、日常生活における危険予測、危険回避能力を身につけられるよう取り組んでいる。現在、高校生に対して着用の義務はないが、各学校での啓発を推進し、児童・生徒みずから自分の命を守る



介護  
中小企業の設備投資支援

逆瀬川義久  
さかせがわよしひさ  
(公明党)

**質問** ケアプランの点検状況は。また、福祉用具の価格設定は適正か。

**答弁** 平成29年度に176件のケアプランを抽出し、点検・指導を実施している。また、福祉用具の貸与・販売の価格差は全国的な課題となっており、本年4月からは全国平均貸与価格の公

安全教育を進めていきたい。  
**質問** 障害者に支給している日常生活用具で、本市で新たに追加したものとして今後追加予定のものは。

**答弁** 咽頭切除で発音できない障害者が使用する埋込型人工咽頭用人工鼻は、毎日交換が必要のため、昨年から費用の一部を助成している。

今後、追加予定の日常生活用具はないが、自立した日常生活の一助となる用具について、調査研究していきたい。



表や価格帯の異なる商品の提示が事業者に義務付けられ、10月からは国で価格の上限を設定する予定である。  
**質問** 平成27年の法改正以降、特別養護老人ホームの特例入所の状況は。

**答弁** 要介護1や2でも認知症など、やむを得ない理由がある場合の特例入所は、



地域の支え合い活動  
高齢者の居場所づくり

高橋美奈雄  
たかはしみなお  
(市民クラブ)

**質問** 本市における地域の支え合い活動の柱となる協議体の目的と活動内容は。

**答弁** 協議体の目的は、地域の情報を共有し、ネットワークを活用しながら支え合いの取り組みを推進することである。協議体では、高齢者ニーズを把握するため、アンケートの実施や支え合いの活動場所を地図に表し、地域の状況を確認する作業を行っている。市としても、協議体の目的や活動を理解していただくため8月に区長や民生委員に対

計101件である。  
**質問** 生産性向上特別措置制度の内容と本市の対応は。

**答弁** 中小企業の設備投資を支援するため、固定資産税を特例でゼロにする制度である。企業が作成する設備計画を市が審査・認定する予定であり、この取り組みを積極的に支援するため、制度の周知に努めたい。



し説明会を開催予定である。  
**質問** 高齢者の居場所づくりの効果と今後の期待は。

**答弁** 高齢者の居場所は、誰もが自由に参加できる場となっている。お互いに支え合うことにより、高齢者の閉じこもりを防止し、住民同士のつながりや支え合いの創出拠点としての効果が期待される。

今後、居場所の設置が進むと、さらに地域のつながりが深まり、支え合い活動が促進されると考えている。



良好な市街地を形成するため、土地や建物の所有者などの住民が主役となって話し合い、検討を重ねてその地区の実情に応じた計画をつくる制度のこと。

学生に就業体験の機会を提供する制度で、実際に企業へ行き一定期間、職場体験をさせること。



## ●地区計画制度

## ●インターンシップ



**市有施設のアスベストの現状**  
**障害者差別問題**  
なかしまてるお  
**中島輝男**  
(市民クラブ)

**質問** 法改正により、新たに規制された石綿を含む建材の劣化による石綿等へのばく露防止対策が強化されたが、現状は。

**答弁** 壁内部や天井裏等の吹き付けアスベストの有無については、設計書や仕様書等で判断しているが、判断できない場合には、サンプル採取による分析を行った。露出のない保温材や耐火被覆材、断熱材のサンプル調査は実施していなかったが、今後、専門的な再調査も検討したい。



**子どもの発達障害支援**  
**清水明夫**  
しみずあきお  
(新風会)

**質問** 子どもの発達障害に対し、通級指導教室の支援に加え、こども発達支援センターや学校と連携した支援が必要であるが体制は。

**答弁** 通級指導教室では、相談内容に応じて、こども発達支援センターの担当者や相互に情報交換し、連携を図っている。さらに学校からの依頼により、教室訪

**質問** 障害者差別の実態調査が必要と思うが考えは。

**答弁** 第5期障害福祉計画および第1期障害児福祉計画の策定に当たり、障害福祉サービスを利用する障害児と障害者に、昨年アンケート調査を実施したところ、約半数の人が差別や偏見など嫌な思いを感じているとの回答であった。

この結果を踏まえ、今後障害者差別の実態把握の方法等について研究していきたいと考えている。



問をすることで一人一人の支援方針を協議し、共通実践に取り組んでいる。また、教育センターでは、全ての教員を対象に発達障害への理解促進のための研修を行うなど適切な支援に向けた指導力向上を図っている。

**質問** 6月15日から施行される通称、民泊新法の内容と本市の姿勢は。

**答弁** 既存の住宅を活用し、宿泊事業を行うもので、年間宿泊日数180日を超えない範囲で県への届け出によって可能となる。本市と



**まちなか商店リニュー**  
**絶メシリスト**  
ときたひろゆき  
**時田裕之**  
(新風会)

**質問** まちなか商店リニューール助成事業は本年度から2回目の申請が可能となったが、申請割合や請負業者の反応、経済効果は。

**答弁** 374件の申請のうち、約7割が2回目の利用である。請負業者からは、2回目の申請のため、より良いリニューアルの提案ができた、忙しくなったがやりがいがあるといった声がある。これまでの工事費約

しても外国人誘客事業を着実に推進し、民間事業者の今後の動向に注視していきたい。



40億円以上が市内を循環し、小規模事業者等の経営や雇用の安定につながっている。

**質問** 絶メシリストの概要と効果は。また、リスト掲

**載の方法は。**

**答弁** 絶メシリストは(株)博報堂に委託し、現在34店舗を掲載している。全国の約27万人がサイトを閲覧し、テレビなどのメディアでも紹介され、本市の食の魅力が大いにPRできた。また、絶メシリストへの掲載は、サイトのタレコミ情報投稿コーナーに寄せられる声からプロのグルメライターが厳選し、掲載している。



**ふるさと納税**  
**追川徳信**  
おいかわとくのぶ  
(新風会)

**質問** ふるさと納税の返礼で、寄付者のふるさととの宅地や農地を除草するというサービスはできないか。

**答弁** 返礼品は各自自治体が工夫を凝らした地域の特産品のため関心が高く、寄付者の要望に沿った返礼品を扱う自治体も増えている。寄付者の多くがふるさとを離れているため、質問のサービスも含め、ニーズに即した視点や地域課題の解決につながる返礼品の研究をしていきたい。

**質問** 中心市街地の近郊地

域にまとまった一戸建て住宅用地が、近隣市町村と比較して少なく、競合する他市に後れを取っている。もつと住宅地を増やす考えは。

**答弁** 質問の地域は、宅地化を抑制する市街化調整区域となっているが、適正な開発が必要であることを認識している。

なお、本市では、高崎駅周辺の商業地区の規制を緩和し、マンション建設および入居促進を支援し、人口増加につなげていきたい。



絶メシリストのサイト



**ケルナー広場**  
ペDESTリアンデッキの利用  
伊藤 敦博  
(日本共産党)

**質問** 観音山公園ケルナー広場の利用者から休憩や食事のとれるような日よけや雨よけを設置してほしいとの声があるが、管理運営予算に対する考えは。

**答弁** ケルナー広場は、子どもからお年寄りまで利用者が安全かつ安心して楽しめる公園として利用されている。引き続き適正な維持管理に努めていくとともに必要な予算額を確保していきたいと考えている。

**質問** 駅ペDESTリアンデッキの貸し出しルールで、



**大人のひきこもりへの支援**  
市役所でのセクハラ・パワハラ防止策  
三島 久美子  
(無所属)

**質問** 障害者支援SOSセンターにおけるひきこもりの支援など、現状と今後の取り組みは。

**答弁** 5月9日に障害者支援SOSセンターは、6月3日現在で137件の相談があった。このうち発達障害などの精神疾患の相談が54件、ひきこもりの相談も寄せら



れており、支援につながっている。今後も不安や悩み事の相談ができることを広く周知し、障害を持つ人の支援に努めていく。

**質問** 市職員のセクハラ・パワハラ被害を防止する対策は。

**答弁** 市役所では、本年4月に職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止



等に関する要綱を改正し、セクハラその他、妊娠や出産、介護に関するハラスメントやパワーハラスメントも防止等の対象とした。引き続き



**架空請求はがきの被害防止**  
まちなか商店リニューアル  
木暮 孝夫  
(公明党)

**質問** はがきによる架空請求被害の未然防止のため、高齢者に対する対策は。

**答弁** 高齢者は、身に覚えのない請求やだまされたことに気がつきにくく、問題が表面化しにくい。地域全体での見守り・声掛けが有効である。昨年度、相談につなぐためのリーフレットを作成し、関係機関に配布して協力依頼を行った。今後も、関係部署と継続的



ショーケースを新しくし主力商品をPR

きハラスメントをテーマとした研修を実施するなど、ハラスメントの防止と排除に積極的に取り組んでいく。



な情報共有や連携を図り、啓発活動を実施していき

**質問** まちなか商店リニューアル助成事業補助金の本



**地域循環型経済の推進**  
子どもたちへの学習支援  
依田 好明  
(日本共産党)

**質問** 地域循環型経済に大きな役割を果たしていると評価されている住環境改善助成制度の成果は。

**答弁** 平成23年度から昨年度までの助成件数は6450件、助成額11億5000万円、工事総額は約65億円となっている。この事業により、外装工事の他、幅広い業種で工事が行われており、市内の多くの業者が携わることで、地域経済の活性化にも寄与している。

**質問** 生活困窮世帯の子どもが十分な教育を受けられ

年度の申請内容の特徴や申請者の声は。

**答弁** 2回目の利用を可能とした本年度は、利便性を優先した工事が計画され、入り口の段差の解消、手すりの設置など、高齢者や障害者に優しい店舗づくりが増えた。

また、店内のショーケースを新しくするなど主力商品を強くアピールしたいとの声が上がっている。

るようにするため、本市の学習支援への取り組みは。

**答弁** 本市では平成26年度から、全ての小・中学校区で放課後や土曜日に地域が中心となって行う学習会を推進している。希望者を対象に学力向上のためだけでなく、安心して過ごせる居場所づくりの場も担っている。昨年度は約7万8千人の子どもたちが参加していることから、今後も地域の協力を得て、さらに充実させたい。





### 子どもの遊び場のさらなる充実 就労困難者への支援

小野 聡子  
(公明党)

**質問** 低予算でも遊んで学べる新たな仕掛けや各種教室を充実させ、少年科学館を魅力ある施設にする考えは。また、駅東口の再開発ビルに計画しているキッズスペースの概要は。

**答弁** 子どもたちのニーズを的確に把握し、新たな仕掛けや各種教室の充実など、さまざまな視点から研究していく。キッズスペースは、子どもの創造性や成長を育めるよう、子ども図書館と一体的に利用できる室内遊戯場として整備したい。

**質問** 生活困窮者自立支援法による認定就労訓練事業の概要と現状、取り組みは。

**答弁** 事業者が自治体の認定を受け、生活困窮者に就労訓練の機会を提供する事業で、ニートなどへの就労のきっかけづくりに期待できる。一方、事業者は就労支援担当者の配置など負担感が大きく、市への申請はまだない。今後、事業の周知や理解を得られるよう福祉部、商工観光部および農政部等の関係部局と連携していく。



### 土地・家屋の相続未登記 成年後見制度

後閑 賢二  
(新風会)

**質問** 全国で私有地の約20%が所有者不明の土地であり、九州を上回る面積であるが、相続未登記発生の原因と本市への影響は。

**答弁** 相続登記が進まない原因は、登記の義務付けがなく、所有者意識の希薄化や登記費用の負担増等が考えられる。市としては、公共事業の用地取得、耕作放棄地や危険な空き家対策、固定資産税の徴収の影響など、土地の円滑な利用に支障を来すだけでなく、所有者・相続人の探索や所有権の取得などの事務量増大も課題である。

**質問** 成年後見人による横領などの不正が全国で発生しているが、本市でもそのような事例があるのか。

**答弁** 成年後見人は裁判所の監督の下で活動するため、不正を市が把握することはできない。なお、市で養成した市民



### 妊産婦・乳幼児のための災害対策 介護人材の確保

丸山 覚  
(公明党)

**質問** 妊産婦や乳幼児を抱えた保護者が負担なく災害の備えを学び、実践する機会を市が子育て支援として提供できないか。

**答弁** 妊産婦、乳幼児に対しては、妊娠経過や心身の発達状態に対応した、きめ細やかな防災対策を行うことが重要と考えている。保健センターでの乳幼児教室や健康診査などの機会を活用して防災教育を取り入れ、



乳幼児を持つ保護者の防災対策を

後見人は、弁護士などの後見監督人が必ず選任され、不正を防止する体制となっており、現在まで不正はない。



母子の視点での防災対策に努めていきたい。

**質問** 介護に携わる職員がやりがいを持てるように、県は職場環境の改善に積極



### 障害や発達の悩みがあっても 笑って子育てできる環境づくり

田村 理  
(日本共産党)

**質問** 重症心身障害児や医療的ケア児の現状は。また、医療的ケア児が住む地域で、当たり前のように保育所や認定こども園、幼稚園に受け入れてもらえる体制の充実を前向きに検討してほしいが、本市の今後の方針は。

**答弁** 重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複している重症心身障害児は、平成29年10月現在で54人、このうちたんの吸引などが必要な医療的ケア児は21人である。また、医療的ケア児の受け入れは認定こども園

的な事業者を評価・認定しているが、本市の取り組みは。

**答弁** 不足する介護人材の確保は、高齢者が住み慣れた地域で安心して日常生活を継続していくために欠かせない重要課題であると認識している。職場環境を整えることも含め、介護人材の確保、定着、育成を総合的に推進できるよう研究していきたい。



の一部で実績があるが、国でも支援体制の議論が始まったところであり、動向を注視し適切に対応していく。  
**質問** 医療的ケア児の家族がリーフレットを作成するなど自主的に啓発活動を行っている。この活動を市で支援できないか。  
**答弁** 医療的ケア児の家族会は居住市町村を越えて、相互に助け合い、啓発活動に取り組んでいる。本市としても支援の方法を研究していきたい。





### ふるさと納税の取り組み 学校教育諸課題

堀口 順  
(市民クラブ)

**質問** 本市のふるさと納税の返礼品には、多くの農産物や加工品があるが、どのように農業振興に結びつけていくのか。

**答弁** 返礼品としての農産物加工品は、農業者新規創造活動事業でパッケージデザインを改良し、6次産業化等推進事業を利用して商品開発したものである。今後、返礼品を農産物や加工品販売PRの一つとして充実していきたい。

**質問** 本市のICTの設置状況は。また、発達障害の



(P7参照)

一つである学習障害児に対してICTを導入し活用すべしと考えるが。

**答弁** 本年度、小・中学校の各教室にタブレットパソコンを1台設置するなど、デジタルコンテンツを活用した効果的な学習を進める予定である。また、学習障害児に対しては、ICT機器のズーム機能を活用し、重要項目を強調することで学習内容が定着した例もある。今後、障害の軽減に向けて、先進的な活用を研究したい。



### タクシーを活用した住民移動手段 太陽光発電と蓄電池システム

木村 純章  
(市民クラブ)

**質問** 県内でもタクシーの活用を含めた交通弱者対策を検討している自治体があるが、本市の考えは。

**答弁** タクシーの利用に対して補助を行う近隣自治体もあるが、財政負担に苦しんでいるケースが多い。また、路線バスや鉄道などの公共交通の衰退を招く恐れがあるなど見直しを検討す

る自治体もある。本市としては国のタクシー定期券構想などの動向も見据え、引き続き情報収集をしていきたいと考えている。

**質問** 太陽光発電の買取価格が徐々に下がる中、自家消費を促すための蓄電池の導入が必要と考えるが、本市の対応は。

**答弁** 現在は売電する方が

自家消費型より有利と考えられるため、蓄電池の積極的な設置には至っていないが、今後、固定価格買取制度期間が終了すると蓄電池



### 文化財保護行政 コンビニAED設置

長壁 真樹  
(新風会)

**質問** 埋蔵文化財の発掘調査方法と出土品の取り扱い、また作業員の雇用状況は。

**答弁** 埋蔵文化財の発掘調査は、重要遺跡の内容や範囲を把握する現状保存調査と工事などで現状保存できない場合に記録をとる調査に分けられる。出土品は専門文化財事務所などで箱ごとに管理し、重要な出土品は、かみつけの里博物館で保管、展示し、市民に広く

の必要性が増してくる可能性もある。国や市場の動向に注視しながら適切な対応を研究していきたい。



紹介している。また、作業員は現場の数や調査面積により、必要な人数を市の臨時職員として雇用している。

**質問** コンビニAED設置の事業内容とコンビニの役割は。また、AEDに特化した講習を実施する考えは。

**答弁** 市内にある24時間営業のコンビニ165店舗のうち、協力いただける店舗にAEDを設置し、日時に関係なく使用できる環境を整えるものである。

また、市民向けに消防局職員を派遣し、AEDの使用方法和緊急時の対応に特化した出前講座を予定している。



### 高齢者の免許証返納 伝統芸能の保存・継承

渡邊 幹治  
(新風会)

**質問** 高齢者が運転免許証を返納した後の本市の支援体制は。

**答弁** 運転免許証の自主返納時に、敬老バスカードとぐるりん回数券のセット、新しいバス回数券、タクシー利用券のいずれか1つを交付している。また、昨年9月から、**運転経歴証明書**の提示により協力店でサービスを受けられる運転免許証自主返納者サポート制度を実施している。さらに、ぐるりんなどで使用できる半額回数券の新設やよい



バスで運賃が半額となる制度を4月から導入している。

**質問** 伝統芸能を保存・継承するための本市の支援は。

**答弁** 高崎伝統民俗芸能祭りをはじめ、おはやしなどを発表する場所を積極的に提供している。

また、山車やみこしなどの修繕に対する補助や、獅子舞、神楽の舞など、一連の動きが将来にわたって継承されるよう映像として記録している。今後、若い世代への継承を支援していきたい。



### ●運転経歴証明書

運転免許証を自主返納した人が、申請により交付を受けることができ、運転免許証と同様に身分証明として用いることができるもの。

### ●終活 (P9参照)

人生の最期を迎えるにあたって行う準備。



### 特別な理由による予防接種費用 終活の支援を

新保 克佳  
(公明党)

**質問** 小児期の定期予防接種で得た免疫が消失するケースは。また、再接種費用に対する助成の考えは。

**答弁** 骨髄移植や抗がん剤治療などにより、予防接種で獲得した免疫が低下、消失することが分かっている。現在、このような場合の再接種の助成制度はないが、小児の予防接種は種類も多く、再接種することへの経済的・精神的負担が大きいと考えられるため、国や他自治体の動向、医師会の意見により研究していきたい。

**質問** 横須賀市には、身寄りのない高齢者に対する葬儀の生前契約仲介事業や全市民を対象に終活情報を事前登録できる制度がある。本市で導入する考えは。

**答弁** 市内の葬儀社では、物価変動による葬儀費用の増減、精算などの課題があるため、生前契約を行っている。本市としては、高齢者あんしんセンターへの相談状況などを通じて、終活に関する要望を把握し、調査、研究をしていきたい。

**質問** 本市で、平常時における災害図上訓練や避難所開設訓練の実施、また専門知識を持つ自衛隊OBを危機管理監に配置する考えは。



### 水害に対する備え 新町地域の浸水対策は

松本 賢一  
(新風会)

**質問** 本市で、平常時における災害図上訓練や避難所開設訓練の実施、また専門知識を持つ自衛隊OBを危機管理監に配置する考えは。

**答弁** 災害図上訓練は、災害対策本部の運営に有効と考え、内容や他の事例も含め研究していく。また、避難所開設については、平成26年度から避難所開設担当

者を対象にHUG研修を実施している。なお現在、危機管理監を配置する考えはないが、災害対応についてスキルアップを図りたい。

**質問** 新町地域で浸水が想定される場合、一時避難場所としての高層建物の確保と住民への周知方法は。また、隣接自治体との協定は。

**答弁** 3階建て以上の県営

住宅やマンションなど44カ所を一時避難場所として確保し、ハザードマップの改定に併せて周知していく。また、災害時には、覚書



により藤岡市内の小・中学校、高等学校を利用できる。今後、安全な避難場所の確保を藤岡市と協議していく。



### 駅東口への光のページェント拡大 不登校の現状と対策

根岸 赴夫  
(新風会)

**質問** 高崎駅西口は、毎年年末に光のページェントとしてイルミネーションで飾られるが、駅東口へ光のページェントの範囲を拡大する考えは。

**答弁** 駅西口は、従来のエリアに加え、街路樹や街路灯をイルミネーションで飾り点灯範囲を拡大した。また、東口でも同時期にペDESTリアンデッキに企業負担で飾られた。東口への光

のページェント拡大については、高崎芸術劇場やGメッセ群馬の整備により、交流人口の増加が見込めるため、今後研究していきたい。



### 通学路の安全対策 消防団員の傷病等の補償

林 恒徳  
(市民クラブ)

**質問** 通学路の時間帯進入禁止箇所での進入車両に対する本市の取り組みは。

**答弁** 本市では、平成29年度末に策定した交通安全アクションプランにより、進入禁止等の規制が設けられている道路にバリケードを置くことを推進している。市内58小学校のうち、希望のあった13の小学校にバリケード37台を配付している。バリケードの保管場所や規制の場所など各学校の課題もあるが、より多くの場所に設置できるよう対応して

いきたい。  
**質問** 消防団員には自営業の人が多く、活動中のけがなどで働けなくなった場合の補償は。

**答弁** 消防団員の公務災害補償として、治療に必要な療養補償費に加え、調査認定後、業務に従事できない期間の休業補償にも対応している。また、1年6カ月経過しても完治せず一定の傷病に該当する場合や障害が残った時には補償年金や障害補償金を支給している。



イルミネーションで飾られた街路樹



避難所運営ゲームの略で、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所に見立てた平面図に適切に配置しどう対応していくかを模擬体験するゲームのこと。

自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの。本市では、大雨による洪水や土砂災害について発生が予想される箇所や範囲を指定避難所とともに示したもの。



●HUG

●ハザードマップ

# 委員会審査

## 総務教育常任委員会

**質疑** 自治総合センターコミュニティ助成金の具体的な内容と助成した町内会の数は。また、行政の企画も助成対象になるのか。

**答弁** 会議用のテーブルや椅子、エアコンの整備などで、2町内会が助成を受ける。また、助成対象は町内会や認可地縁団体であり、行政の企画は対象外である。

**質疑** 「世界の記憶」上野三碑のために受けた寄付の活用方法は。

**答弁** 三碑の保存活動のために活用したいと考えている。



ますますの保存活動を

## 市民経済常任委員会

**質疑** 新たに購入するぐるりんバスは、どこの路線を走らせるのか。

**答弁** 岩鼻線と観音山線を予定している。

**質疑** ぐるりんバスのバリアフリー対策や環境対策は。

**答弁** バリアフリー対策は、低床のノンステップ型車両で、乗降時に床の高さが30cm未満まで下がり、高齢者でも無理なく乗り降りが可能である。また、前後どちらの扉からでも車椅子で乗り降りできる。環境対応は、アイドリングストップが標準装備のほか、最新の排出ガス規制に適合している。

各常任委員会、都市集客施設建設特別委員会及び環境施設建設特別委員会において、付託された議案などを審査しました。質疑・答弁の一部を掲載します。

## 保健福祉常任委員会

**質疑** 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正において、家庭的保育事業所とは。また、市内に存在するのか。

**答弁** 20人以下の比較的小規模な保育を提供する事業所のことである。本市において当該基準条例に基づいて認可している事業所はない。

**質疑** 高浜長寿センターで、満15歳までの利用料金を徴収しないねらいは。

**答弁** 新たに移転する高浜長寿センターは、子どもの使用を想定したプレールームを設け、多世代交流を図るため、中学生以下を無料とした。

## 建設水道常任委員会

**質疑** 県が管理しているウエストパーク1000は、市に移管となるが、その条件は。

**答弁** 県企業局と市が共同整備した駐車場である。市への移管を前提としており、平成31年4月1日の移管に向け準備を進めている。



駅西口のウエストパーク1000

**質疑** 八幡霊園の今期整備される内容は。

**答弁** 現在、造成中の墓地で未確定だが、3㎡の墓所を130基前後整備する予定である。

## 都市集客施設建設特別委員会

**質疑** 高崎芸術劇場の完成が平成31年3月31日とのことだが、指定管理者の指定期間を30年7月1日からに定めた理由は。

**答弁** 31年中の開館を目指しているが、施設を円滑に運営していくためには、外部委託先の検討や契約行為を進め、施設のPRを積極的に推進する必要がある。今回、指定管理に関する協議や手続が整ったことから、7月1日から4年9カ月の指定管理とした。



完成が待たれる芸術劇場

## 環境施設建設特別委員会

**質疑** 高浜クリーンセンター建替プラント設備工事の契約金額は、約167億円だが、市場価格と比較してどのようにになっているのか。

**答弁** 他の自治体の平均工事費を参考に見積もり限度額を設定の上、プロポーザルを実施した。契約金額は見積もり限度額の80%で、実情に即した範囲内である。

**質疑** 今後の工事予定は。

**答弁** 請負契約締結後、プラント設備の実施設計を行い、平成31年度中の工事着手に向け準備を進める。また、土木建築設計を発注し、実施設計を進めていく予定である。



